

阿武隈急行線地域公共交通網形成計画の取り組みについて

目標達成のための取り組み（P）	事業主体							令和4年度			令和5年度			令和6年度	備考
	阿武急	事業者	事業者	事業者	事業者	事業者	事業者	実施状況（D）	評価（C）	見直し（A）	実施状況（D）	評価（C）	見直し（A）	実施予定（P）	
基本方針1 鉄道を軸とした沿線地域の一体的な交通ネットワークの形成															
目標1 阿武隈急行線とバス交通等の一体的なネットワーク構築とサービス提供															
沿線地域公共交通の路線再編【重点施策】 阿武隈急行線とともに地域の基幹交通を担う路線バスについて、阿武隈急行線と連携した機能強化や効率化を図るために、路線の再編を行う。また、駅から離れた居住地や目的施設等を繋ぐ交通手段として、駅を結節点としたバス交通のネットワークを形成する。	●		●							継続					
駅の案内表示・広報方法の改善 来訪者や観光客が駅から目的地まで迷わず移動できるようにする。	●							●		継続	●				●
駅阿武隈急行線を基軸とした一体的交通サービスの提供（地域MaaSの展開）【重点施策】 目的地までの複数の交通手段（鉄道・バス・タクシーなど）をパッケージ化して「1つのサービス」として提供することで、利用者の目線から分かりやすさと利便性の向上を目指す。	●		●	●	●					継続	●				
基本方針2 鉄道沿線の交通まちづくりの推進															
目標2 駅を中心としたまちづくりの推進															
駅周辺におけるイベント・行事等との連携【重点施策】 地域のイベント等への交通手段として公共交通の利用を促進する。	●							●	●	継続	●				
駅周辺における居住・都市環境整備の推進 駅を中心としたコンパクトなまちづくりを推進することにより、人口減少・高齢化に対応したまちづくり及び、公共交通の利用を確保することを目指す。									●	継続					
駅周辺における企業・工業団地等の開発促進 駅周辺に企業・工業団地等の開発を図ることで、通勤利用等の増加を目指す。									●	継続					

阿武隈急行線地域公共交通網形成計画の取り組みについて

目標達成のための取り組み (P)	事業主体						令和4年度			令和5年度			令和6年度	備考
	阿武急	事他業者	事業者	事業者	事業者	事業者	実施状況 (D)	評価 (C)	見直し (A)	実施状況 (D)	評価 (C)	見直し (A)	実施予定 (P)	
目標3 生活やコミュニティ拠点としての場の提供														
<p>駅における生活拠点づくり【重点施策】 駅を交通の乗り換え場所としてだけでなく、沿線住民が日常生活で駅に来る目的を創出することで、鉄道利用者の利便の向上とともに、駅に人が集まる拠点づくりを目指す。</p>	●						<ul style="list-style-type: none"> ・継続して卸町駅、梁川駅へ飲食店を出店していただいた。【会社】 ・福島駅東口駅前広場、駅前通り等でマルシェや軽トラ市などイベントが開催された。【福島市】 ・梁川駅舎内で飲食店経営営業【伊達市】 ・保原駅内待合スペース改善の実施検討【伊達市】 ・角田駅前広場を活用した「駅前マルシェ」を開催した。【角田市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して駅に出店していただくことにより、駅に人が集まる拠点づくりに寄与した。【会社】 ・福島駅の集客、街なか活性化に寄与した。【福島市】 ・鉄道利用者利便性向上と沿線住民が駅に来る目的ができ、阿武隈急行の情報を目にする機会の増加へつながった。【伊達市】 ・定期的な開催により駅前の活性化に寄与した。【角田市】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して卸町駅、梁川駅へ飲食店を出店していただいた。【会社】 ・福島駅東口駅前広場、駅前通り等でマルシェや軽トラ市などイベントが開催された。【福島市】 ・梁川駅舎内で飲食店経営営業【伊達市】 ・保原駅内待合スペース改善の実施検討【伊達市】 ・角田駅前広場を活用した「駅前マルシェ」を開催した。【角田市】 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して駅に出店していただくことにより、駅に人が集まる拠点づくりに寄与した。【会社】 ・福島駅の集客、街なか活性化に寄与した。【福島市】 ・鉄道利用者利便性向上と沿線住民が駅に来る目的ができ、阿武隈急行の情報を目にする機会の増加へつながった。【伊達市】 ・定期的な開催により駅前の活性化に寄与した。【角田市】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して卸町駅、梁川駅へ飲食店を出店していただく。【会社】 ・福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 ・福島駅東口駅前広場、駅前通り等でマルシェや軽トラ市などイベントを開催【福島市】 ・保原駅内待合スペース改善の実施検討【伊達市】 ・角田駅前広場を活用した「駅前マルシェ」の開催【角田市】 	
<p>地域と連携した駅等の美化活動【重点施策】 地域を連携した駅等の美化活動により、利用者の快適性向上とともに、地域住民の愛着・マイレール意識の醸成を図る。</p>	●					<ul style="list-style-type: none"> ・マイレールボランティア駅長の継続を打診【会社】 ・福島駅東口前広場にて、地元団体が花時計の花の植え替えなど維持管理を実施した。【福島市地元住民】 ・駅前通り等の福島市中心市街地で、スポGOMIを実施した。【福島市地元住民】 ・分煙により駅利用者の受動喫煙防止が図られた。【福島市】 ・角田駅にて地元団体による環境美化活動を実施。【角田市】 ・丸森駅等にてシルバー人材センターや地元団体が美化運動（花苗植え、トイレ清掃）を実施した。【丸森町地域住民】 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレールボランティア駅長を継続して受託していただき、美化活動を行っていただいた。【会社】 ・福島駅周辺の環境美化が図られた。【福島市住民団体】 ・角田駅周辺の環境美化が図られた。【角田市】 ・地域と連携した美化活動によりマイレール意識の醸成が図られた。【丸森町地域住民】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレールボランティア駅長の継続を打診【会社】 ・福島駅東口前広場にて、地元団体が花時計の花の植え替えなど維持管理を実施した。【福島市地元住民】 ・駅前通り等の福島市中心市街地で、スポGOMIを実施した。【福島市地元住民】 ・角田駅にて地元団体による環境美化活動を実施。【角田市】 ・東船岡駅にて住民団体と地元スポーツ少年団等による清掃活動を実施【柴田町住民団体】 ・丸森駅等にてシルバー人材センターや地元団体が美化運動（花苗植え、トイレ清掃）を実施した。【丸森町地域住民】 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレールボランティア駅長を継続して受託していただき、美化活動を行っていただいた。【会社】 ・福島駅周辺の環境美化が図られた。【福島市住民団体】 ・角田駅周辺の環境美化が図られた。【角田市】 ・東船岡駅周辺の環境美化が図られた。【柴田町住民団体】 ・地域と連携した美化活動によりマイレール意識の醸成が図られた。【丸森町地域住民】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレールボランティア駅長の継続を打診【会社】 ・福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 ・福島駅東口前広場にて、地元団体が花時計の花の植え替えなど維持管理を実施【福島市地元住民】 ・駅前通り等の福島市中心市街地で、スポGOMIを実施【福島市地元住民】 ・地元団体の解散により今後は市で角田駅周辺の環境美化を図る予定。【角田市】 ・丸森駅等にてシルバー人材センターや地元団体が美化活動（花苗植え、トイレ清掃）を実施予定【丸森町地域住民】 		
基本方針3 多様な関係者との連携による公共交通の利用促進														
目標4 利用ニーズに対応したサービスの提供														
<p>利用ニーズに応じたダイヤの見直し【重点施策】 乗り継ぎ利便性向上にむけてすぐできる対応として、現行の車両数・設備で可能な範囲のダイヤ改正を行う。</p>	●					<p>お客様のご利用状況を踏まえたダイヤ改正を行った。【会社】</p>	<p>最終列車の繰り上げ及び梁川駅、富野駅の発着を見直した。【会社】</p>	継続	<p>・梁川駅及び丸森駅で乗換回数を削減し、利便性を確保した。【会社】</p>	<p>・梁川駅上下19回削減、丸森駅上下4回削減した。【会社】</p>	継続			
<p>乗り継ぎ方法の案内強化・改善【重点施策】 JR東北本線との乗り継ぎ（槻木駅）は同一ホーム又は隣のホームで可能であり、福島交通飯坂線との乗り継ぎ（福島駅）は同一ホームで可能となっているものの、支払い方法が統一されていないため、乗り継ぎ方法が煩雑かつ複雑になっている。初めての利用者でも迷わないように、乗り継ぎ方法の分かりやすさの向上を図る。</p>	●							継続				継続		
<p>JR等との連携 大きなダイヤ調整などといった「サービスの向上」「運用改善」のための抜本的な改善を図るためには、福島～矢野目間の共用や槻木～仙台間の乗り入れを行っているJRとの協議・調整が必要となるため、長期的視点から継続的な協議・検討の枠組みを構築する。</p>	●					<p>JRと協議しながらダイヤ改正を検討する。【会社】</p>	<p>JRと協議しながらダイヤ改正を行った。【会社】</p>	継続	<p>JRと協議しながらダイヤ改正を検討する。【会社】</p>	<p>JRと協議しながらダイヤ改正を行った。【会社】</p>	継続	<p>JRと協議しながらダイヤ改正を検討する。【会社】</p>		
<p>駅の駐車場の運用改善・整備 鉄道利用者が利用できる駐車場・駐輪場を確保するため、運用改善・整備を検討する。</p>	●					<ul style="list-style-type: none"> ・駅へサイクルスタンドを設置した。【会社】 ・福島駅等にサイクルポート15カ所を設置し、本格的に運用を開始した。【福島市】 ・上保原駅前公園改修工事設計業務を実施【伊達市】 ・角田駅舎内施設での有料電動アシスト自転車貸出を実施。【角田市】 ・丸森駅での無料自転車貸出を実施した。【丸森町】 ・丸森町実施の自転車に関する利用促進事業に対し助成を行った。【宮城県】 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸町駅、保原駅、梁川駅、あぶくま駅、丸森駅、角田駅、東船岡駅にサイクルスタンドを継続して設置した。【会社】 ・福島駅等にサイクルポート15カ所を設置し、多くの方に利用された（年間利用回数23,386回）。【福島市】 ・地元町内会等と検討の上、要望を汲んだ設計内容とした。【伊達市】 ・無料自転車利用者483名利用【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・駅へサイクルスタンドを設置した。【会社】 ・福島駅等にサイクルポート3か所を増設し、利便性の向上を図った。【福島市】 ・上保原駅前公園改修工事（植栽伐採、構造物撤去、暫定駐車場増設）や駐車場の増設（19台から31台へ12台増）、東側出入口を閉鎖し、歩行者の安全確保を図った。【伊達市】 ・角田駅舎内施設での有料電動アシスト自転車貸出を実施。【角田市】 ・丸森駅での無料自転車貸出を実施した。【丸森町】 ・丸森町実施の自転車に関する利用促進事業に対し助成を行った。【宮城県】 	<ul style="list-style-type: none"> ・卸町駅、保原駅、梁川駅、あぶくま駅、丸森駅、角田駅、東船岡駅にサイクルスタンドを継続して設置した。【会社】 ・上保原駅前公園改修工事（植栽伐採、構造物撤去、暫定駐車場増設）や駐車場の増設（19台から31台へ12台増）、東側出入口を閉鎖し、歩行者の安全確保を図った。【伊達市】 ・角田駅舎内施設での有料電動アシスト自転車貸出を実施。【角田市】 ・丸森駅での無料自転車貸出を実施した。【丸森町】 ・丸森町実施の自転車に関する利用促進事業に対し助成を行った。【宮城県】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・駅へのサイクルスタンド設置継続【会社】 ・福島駅等にサイクルポート1か所増設し、利便性の向上を図る。【福島市】 ・上保原駅前公園における残工事へ向けた予算要求【伊達市】 ・角田駅舎内施設での有料電動アシスト自転車貸出を実施。【角田市】 ・丸森駅での無料自転車貸出予定【丸森町】 ・丸森町実施の自転車に関する利用促進事業に対し引き続き助成を行う予定。【宮城県】 		

阿武隈急行線地域公共交通網形成計画の取り組みについて

目標達成のための取り組み（P）	事業主体							令和4年度			令和5年度			令和6年度			備考
	阿武急	事業者	事業者	事業者	事業者	事業者	事業者	実施状況（D）	評価（C）	見直し（A）	実施状況（D）	評価（C）	見直し（A）	実施予定（P）			
目標5 沿線企業・施設等との連携による公共交通の利用拡大																	
<p>沿線企業や大学等と連携したモビリティマネジメント【重点施策】 沿線企業・大学等と連携した取り組みにより、マイカーや送迎での通勤から阿武隈急行線での通勤・通学利用への転換を図る。利用頻度が少ない普通券等での通勤利用者には、定期券購入を促して利用頻度を高めることを目指す。</p>	●							<ul style="list-style-type: none"> 定期券購入を促すべく、定期券を購入していただいたお客様へ景品をプレゼントする企画を実施【会社】 同一区間複数人で利用した場合や学校等のイベントで利用した場合に運賃助成を実施。【角田市、柴田町、丸森町】 通常運賃での乗車毎に1ポイントを付与し、一定数のポイントで抽選により地域商品券、物産品等を進呈。【角田市、丸森町】 市町在住者の学生定期券購入額の2/3助成を実施。【角田市、丸森町】 県内市町が実施する利用促進事業に対して助成を行った。【宮城県】 	<ul style="list-style-type: none"> 計2,183名の方にあぶQプレゼントキャンペーンに応募いただいた。【会社】 運賃助成 685件（2,121人利用）、物産品進呈 30件（抽選）、通学定期補助 1,504件【角田市】 運賃助成 45件（127人利用）【柴田町】 運賃助成 1,710名利用、地域商品券進呈 131枚、通学定期補助 538件【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 定期券購入を促すべく、定期券を購入していただいたお客様へ景品をプレゼントする企画を実施【会社】 同一区間複数人で利用した場合や学校等のイベントで利用した場合に運賃助成を実施。【角田市、柴田町、丸森町】 通常運賃での乗車毎に1ポイントを付与し、一定数のポイントで抽選により地域商品券、物産品等を進呈。【角田市、丸森町】 市町在住者の学生定期券購入額の2/3助成を実施。【角田市、丸森町】 県内市町村が実施する利用促進事業に対して助成を行った。【宮城県】 	<ul style="list-style-type: none"> 計2,813名の方にあぶQプレゼントキャンペーンに応募いただいた。【会社】 運賃助成 948件（3,213人利用）、物産品進呈 30件（抽選）、通学定期補助 1,875件【角田市】 運賃助成 65件（205人利用）【柴田町】 運賃助成 2,186名利用、地域商品券進呈 146枚、通学定期補助 797件【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 定期券購入を促すべく、定期券を購入していただいたお客様へ景品をプレゼントする企画を実施【会社】 福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 同一区間複数人で利用した場合や学校等のイベントで利用した場合に運賃助成を実施。【角田市、柴田町、丸森町】 通常運賃での乗車毎に1ポイントを付与し、一定数のポイントで抽選により地域商品券、物産品等を進呈。【角田市、丸森町】 市町在住者の学生定期券購入額の2/3助成を実施。【角田市、丸森町】 県内市町村が実施する利用促進事業に対して引き続き助成を行う予定。【宮城県】 			
<p>高齢者等の利用促進【重点施策】 沿線の商業・医療施設等と連携した取り組みにより、公共交通の利用促進と施設利用者の利便性向上を目指す。</p>	●							<ul style="list-style-type: none"> 運転免許を返納された方に対して30%割引となる企画を実施【会社】 運転免許返納者に対して回数券を交付【角田市】 町内小学生へ夏休みに無料切符を配布した。【丸森町】 町内団体による「走る風景画展」を実施した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> 計1,267件の運転免許返納割引切符を発行した。【会社】 マイレール意識の醸成に繋がった。【角田市、丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許を返納された方に対して30%割引となる企画を実施【会社】 運転免許返納者に対して回数券を交付【角田市】 町内小学生へ夏休みに無料切符を配布した。【丸森町】 町内団体による「走る風景画展」を実施した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> 計2,418件の運転免許返納割引切符を発行した。【会社】 マイレール意識の醸成に繋がった。【角田市、丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許を返納された方に対して30%割引となる企画を実施【会社】 福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 運転免許返納者に対して回数券を交付【角田市】 町内小学生へ夏休みに無料切符を配布予定【丸森町】 町内団体による「走る風景画展」を実施予定【丸森町】 			
目標6 交流人拡大のための沿線地域の魅力創出																	
<p>鉄道自体の魅力向上【重点施策】 鉄道に乗ること自体を目的とした利用の促進を図る。また、鉄道施設を活用してニッチな鉄道ファン等の利用促進を図る。</p>	●							<ul style="list-style-type: none"> ポケモンのラッピングを施した車両の運行【会社】 サイクルフェスタにおいて、無料切符とサイクルトレインのチラシを配布した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> ラッピング車両を運行し、利用促進を図った。【会社】 マイレール意識の醸成及び利用促進を図った。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ポケモンのラッピングを施した車両の運行【会社】 役場庁舎内ホールや各種のイベント会場において、町内企業が阿武隈急行のプラレールを展示【柴田町内企業】 サイクルフェスタにおいて、無料切符とサイクルトレインのチラシを配布した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> ラッピング車両を運行し、利用促進を図った。【会社】 阿武隈急行の魅力や認知度の向上につながった。【柴田町内企業】 マイレール意識の醸成及び利用促進を図った。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ポケモンのラッピングを施した車両の運行【会社】 福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 サイクルフェスタにおいて、無料切符とサイクルトレインのチラシを配布予定。【丸森町】 			
<p>情報発信の強化【重点施策】 集客力のある有名観光地ではなく、ニッチでディープなスポットを好む個人旅行者を惹きつけるために、SNSを活用した情報発信及び口コミによる情報拡散、集客の仕掛けづくりを通じて地域住民や地域外の応援団を増やすことを目指す。</p>	●							<ul style="list-style-type: none"> 会社のSNSでイベントや企画乗車券の周知等を発信する。【会社】 市の広報紙やLINE、Twitter等のSNSにおいて、イベント周知をはじめ情報発信を行った。【伊達市】 県内月刊誌の「S-style」に町独自事業で実施している阿武隈急行線を利用して町内施設を利用した場合に地域商品券を進呈する事業を掲載し、情報発信を図った。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> SNS等で情報発信を行い、周知に努めた。【会社】 普段阿武急の情報を目にしない市民へ、積極的に情報発信することができた。【伊達市】 仙台市を中心に県内への町独自事業及び阿武隈急行のPRを図った。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 会社のSNSでイベントや企画乗車券の周知等を発信する。【会社】 市SNSを活用し、イベントの周知を行い阿武急の魅力を発信。【福島市】 市の広報紙やLINE、X等のSNSにおいて、イベント周知をはじめ情報発信を行った。【伊達市】 県内月刊誌の「S-style」に町独自事業で実施している事業を掲載していたが、無料で閲覧できるようweb展開し、更なる利用促進を図った。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> SNS等で情報発信を行い、周知に努めた。【会社】 市場まつりでのアンケートでは阿武急利用者へ場内で使用できる金券配布についての認識度は16%(前年度)から82%となった。【福島市】 普段阿武急の情報を目にしない市民へ、積極的に情報発信することができた。【伊達市】 仙台市を中心に県内への町独自事業及び阿武隈急行のPRを実施した。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 会社のSNSでイベントや企画乗車券の周知等を発信する。【会社】 福島県鉄道利活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 市SNSを活用し、イベントの周知を行い阿武急の魅力を発信予定。【福島市】 阿武隈急行線を含む県内の公共交通機関を1回でも多く利用してもらうための取組である「のって！みて！みやぎ〜プラス1〜」をSNS（Instagram）で展開し、広く発信する。【宮城県】 市広報紙での阿武急利用促進記事を定期的に掲載予定。【角田市】 県内月刊誌の「S-style」に町独自事業で実施している事業web状上に掲載し更なる利用促進を図る予定。【丸森町】 			

阿武隈急行線地域公共交通網形成計画の取り組みについて

目標達成のための取り組み (P)	事業主体							令和4年度			令和5年度			令和6年度	備考
	阿武急	事他業	事業道	事業者	事業者	事業者	事業者	実施状況 (D)	評価 (C)	見直し (A)	実施状況 (D)	評価 (C)	見直し (A)	実施予定 (P)	
沿線観光資源を活用した需要開発 新たな地域の魅力を創出し、鉄道利用増や地域の活性化に貢献する。	●							<ul style="list-style-type: none"> あぶQウォークの継続実施【会社】 シンケンファクトリーと連携した企画乗車券の開発【会社】 福島駅と接続する「古閑裕而メロディーバス」の運行を継続した。【福島市】 あぶQフライデー事業を5回実施し、合計578枚販売した。【沿推協】 あぶQウォーク（ポケモンコラボ事業含む）を開催し、参加した460名へおもてなしを行った。【沿推協】 定期券購入者を対象に、あぶQプレゼントキャンペーンを実施した。【沿推協】 体験乗車会とお絵かきトレイン【角田市】 阿武隈急行線を利用して町内施設を利用した場合に地域商品券を進呈した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> 計460名の方にあぶQウォークに参加いただいた。【会社】 2日間で計21名の方にシンケンファクトリーランチ付乗車券をご利用いただいた。【会社】 古閑裕而記念館来訪における公共交通機関利用の利便性向上が図られた。（R4年度古閑裕而メロディーバス乗車人数23,163人）【福島市】 沿線自治体の特産品等をプレゼントやおもてなしに使用することで、利用者へ地域の魅力を発信できた。【沿推協】 ポケモンとコラボしたイベントを実施したことにより、定期利用者とは違った新たな層の参加を呼び込むことができた。【沿推協】 親子連れを対象とし、26名の参加があった。【角田市】 町内商品券48枚を進呈し、町内観光施設と阿武隈急行の利用促進を図った。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> あぶQウォークの継続実施【会社】 シンケンファクトリーと連携した企画乗車券の開発【会社】 福島駅と接続する「古閑裕而メロディーバス」を1台増車し、計画運行とイベント運行を実施した。【福島市】 あぶQピアガー電を4年ぶりに復活させ実施した。【沿推協】 体験乗車会とお絵かきトレイン【角田市】 阿武隈急行線を利用して町内施設を利用した場合に地域商品券を進呈した。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> 計1,326名の方にあぶQウォークに参加いただいた【会社】 1日間で32名の方の方にシンケンファクトリーランチ付乗車券をご利用いただいた。【会社】 古閑裕而記念館来訪における公共交通機関利用の利便性向上が図られた。（R5年度古閑裕而メロディーバス乗車人数32,026人）【福島市】 車内完結型であったが、沿線自治体の特産品をプレゼントにするなど、参加者へ地域の魅力を発信できた。【沿推協】 親子連れを対象とし、37名の参加があった。【角田市】 町内商品券10枚を進呈し、町内観光施設と阿武隈急行の利用促進を図った。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> あぶQウォークの継続実施【会社】 シンケンファクトリーと連携した企画乗車券の開発【会社】 福島県鉄道活用事業補助金を創設。県内市町村等による鉄道の利活用促進及び鉄道を活かした地域活性化の取組を支援。【福島県】 福島駅と接続する「古閑裕而メロディーバス」2台により、計画運行とイベント運行を実施。【福島市】 体験乗車会とお絵かきトレインを開催予定【角田市】 阿武隈急行線を利用して町内施設を利用した場合に地域商品券を進呈する事業を継続して実施予定【丸森町】 	
基本方針4 安全・安心で持続可能な地域公共交通の構築															
目標7 阿武隈急行線の安全な運行の確保															
老朽化（車両等）の更新【重点施策】 鉄道施設や車両の計画的更新を行う。特に、車両の老朽化が著しい状況であり、2022年度以降に8100系が更新時期を迎えることになる。安全で安定した運行の継続のため、順次車両の更新を行っていく。	●							<ul style="list-style-type: none"> 新型車両AB900系2編成（4両）更新した。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した車両を更新したことにより、安全性が高まったとともに、安定運行に繋がった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 新型車両AB900系2編成（4両）更新した。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した車両を更新したことにより、安全性が高まったとともに、安定運行に繋がった。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 新型車両AB900系1編成（2両）を更新予定。 	
駅・待合施設的环境改善【重点施策】 高齢者や障がい者、子供連れに加え、通勤・通学利用者、ビジネス客、観光客など誰もが利用しやすい駅施設の整備を目指す。	●							<ul style="list-style-type: none"> 社員による無人駅清掃を実施した。【会社】 北丸森駅の公衆トイレ電源修繕、丸森駅の駐車場舗装等修繕、北丸森駅駐車場ほか区画線修繕を実施。【丸森町】 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃により駅環境の整備に努めた。【会社】 駅利用者からの要望に対応することができ、環境改善に繋がった。【丸森町】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 社員による無人駅清掃を実施した。【会社】 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃により駅環境の整備に努めた。【会社】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 社員による無人駅清掃実施【会社】 駅（改札口上）看板の修繕【丸森町】 	
目標8 阿武隈急行（株）の経営改善															
旅客運賃以外の収入確保【重点施策】 商品開発の企画・販売により、旅客運賃以外の収入確保を目指す。	●							<ul style="list-style-type: none"> 鉄道むすめ等のグッズ等を発売し、継続して収入を確保していく。【会社】 	<ul style="list-style-type: none"> 計3,864千円のグッズ販売等収入を確保した。【会社】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道むすめ等のグッズ等を発売し、継続して収入を確保していく。【会社】 	<ul style="list-style-type: none"> 計6,843千円のグッズ販売等収入を確保した。【会社】 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道むすめ等のグッズ等を発売し、継続して収入を確保していく。【会社】 	
鉄道事業基盤強化【重点施策】 基盤事業の強化により、将来にわたり安定的な鉄道旅客輸送を維持していく。	●							<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度福島県沖地震被災及びコロナ禍における原油価格・物価高騰に係る支援について、再生支援協議会で協議した。 阿武隈急行在り方検討会における抜本的経営改善策の検討期間（R7年3月まで）において、鉄道旅客輸送を維持・会社存続を図るための緊急的な支援について、再生支援協議会で協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線自治体の支援により、災害復旧が円滑に実施された。 コロナ禍における原油価格・物価高騰に係る支援により、安定的な鉄道旅客輸送が維持された。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 阿武隈急行在り方検討会における抜本的経営改善策の検討期間（R7年3月まで）において、鉄道旅客輸送を維持・会社存続を図るための緊急的な支援について、再生支援協議会で協議した。 R5年度分の緊急的支援を実施した。支援未実施分の取扱いについては、継続検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> 沿線自治体の緊急的支援により、会社の存続が図られ、安定的な鉄道旅客輸送が維持された。ただし、支援未実施分の取扱いについては、継続検討中。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> R6年度分の緊急的支援を実施。 	